

## 幼児教育・保育の「無償化」にともなうアンケート 中間集約

10月からの保育・幼児教育の無償化にともない、保育料に含まれていた副食費が実費徴収になります。地方自治体では、独自の条例制定などで保護者負担の軽減に取り組むところもあります。

そこで、「無償化」に対して自治体がどのように対応しているか、地方議員のみなさんにアンケートをお願いし、24自治体から回答をいただきました。

※アンケートの回答は引き続き受け付けていますので、ご協力をお願いします！

### 現在の給食費支払い方法

	幼稚園	保育所 (3-5歳)
主食費(ご飯など) 3000円	実費払い	実費払い
副食費(おかず) 4500円	実費払い	保育料に含まれる

制度変更で幼稚園と同じ「実費払い」に

### 副食費、主食費ともに無償化を続ける

東浦町では、町独自の施策で保育園の給食費を無償にしてきました。10月からの幼児教育の無償化がスタートするもとも、主食費も副食費もこれまでどおり無償化を継続します。

### 無償化で浮くことになる財源を子育て施策に活用

愛西市では、河合克平議員が6月議会で幼児教育の無償化で7000万円の財源が浮くことを明らかにし、その財源は子育て充実のためにと求めました。

9月議会に3500円の副食費の支給を行う補正予算が上程されました。また、市長は来年度から子どもの医療費無料化の中学生までの拡大を表明しました。

### 3市1町で独自の減免措置

北名古屋市、美浜町、碧南市、西尾市、犬山市では、主食費免除や第2子以降への減免など自治体独自の補助を行います。

北名古屋市	保育料が0円の子どもは2020年3月まで主食費900円を全額免除
美浜町	第2子以降は減免
碧南市	年収360万円未満の世帯及び第3子以降の主食費を含む給食費の全額を無償とする
西尾市	もともと保育園の給食は無料にしていたため副食費のみ徴収する
犬山市	年収360万円未満の世帯及び第3子以降の主食費を含む給食費の全額を無償とする

### 党愛知県委員会が調査、県へ申し入れ



8月28日、党県委員会は愛知県に、3歳児以上の副食費への、県独自の補助制度をつくるよう申し入れをしました。

担当課の職員は、給食も保育の一環ということは認めつつも、「県として独自の補助はできない」、「代理集金サービスのコマースが増えている。こういう業者が保育園に入るのは困る」と答えました。

省庁交渉でも要請を行います。